

第1回市民ワークショップ アンケート結果

1. ワークショップ概要

① 目的

市の考える市の役割と市民の考える市の役割をそれぞれが認識する。

② 対象

中学生以上の市内在住者・在勤者による応募者 88名

③ 実施日時

① 2023年7月23日(日) 9:30~11:30

② 2023年7月26日(水) 19:00~21:00

③ 2023年7月29日(土) 14:00~16:00

④ アンケート回収状況

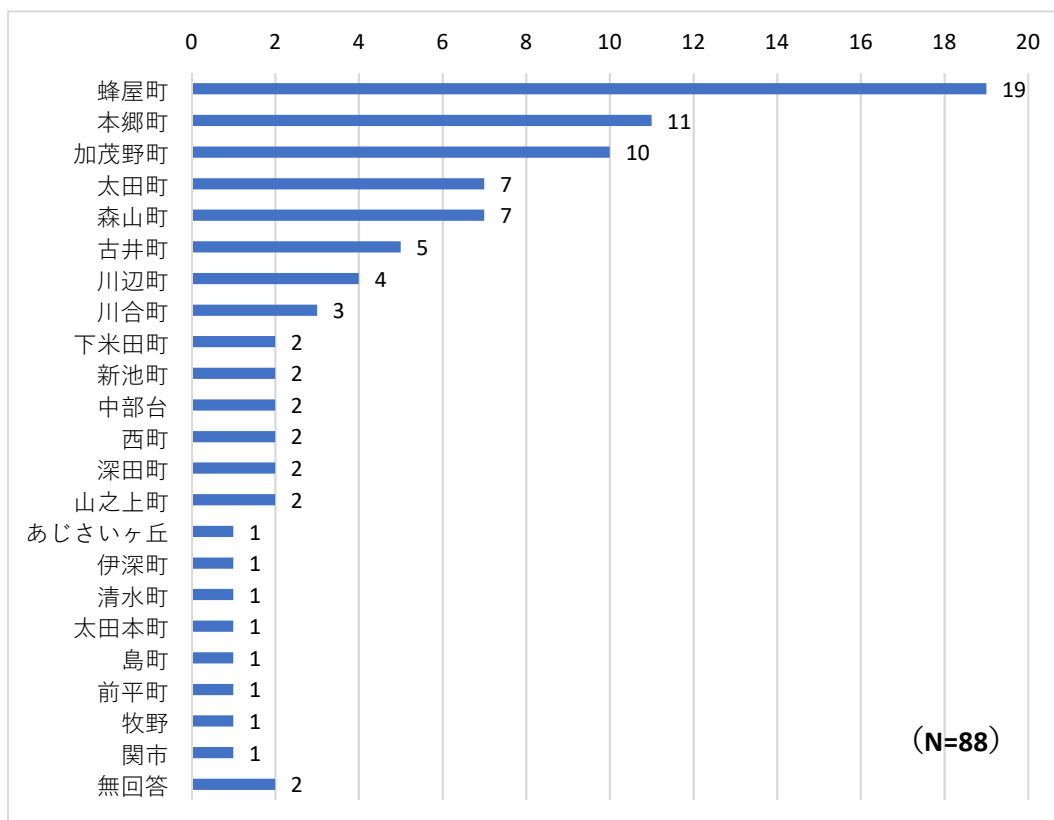
76件回収(紙:59件、Googleフォーム:17件(8月7日13時))

2. ワークショップ参加者の属性

(1) 住所

「蜂屋町」からの参加者が全体の20%を占め、「本郷町」「加茂野町」「太田町」「森山町」が続いた。

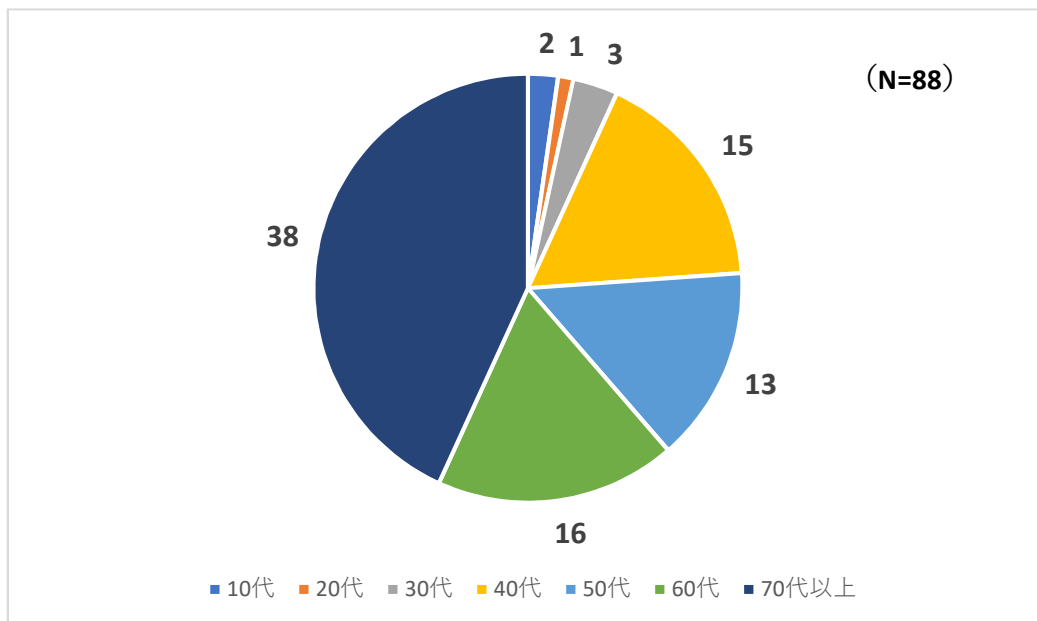
図表1 参加者の住所



(2) 年代

70代以上の参加者が半数弱を占め、40代・50代・60代がそれぞれ約15%ずつの参加であった。年齢層は高いが10代・20代・30代の参加者もあり、幅広い年齢層の参加があった。

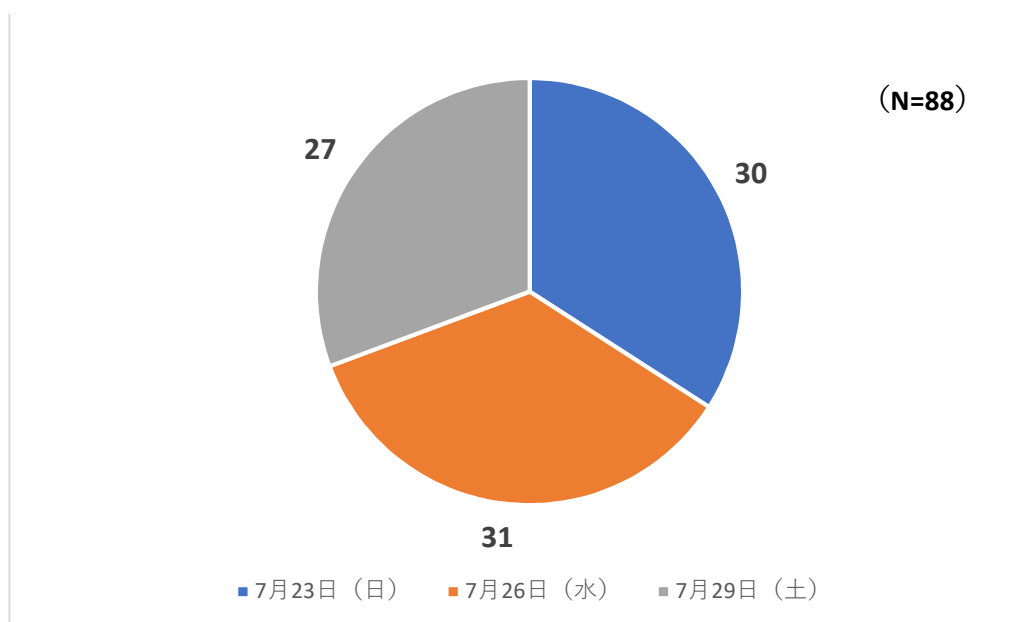
図表 2 参加者の年代



(3) 参加日

平日は夜間、土日は日中の開催だったが、各日程満遍なく、約30人の参加があった。

図表 3 参加日別参加人数



3. アンケート結果

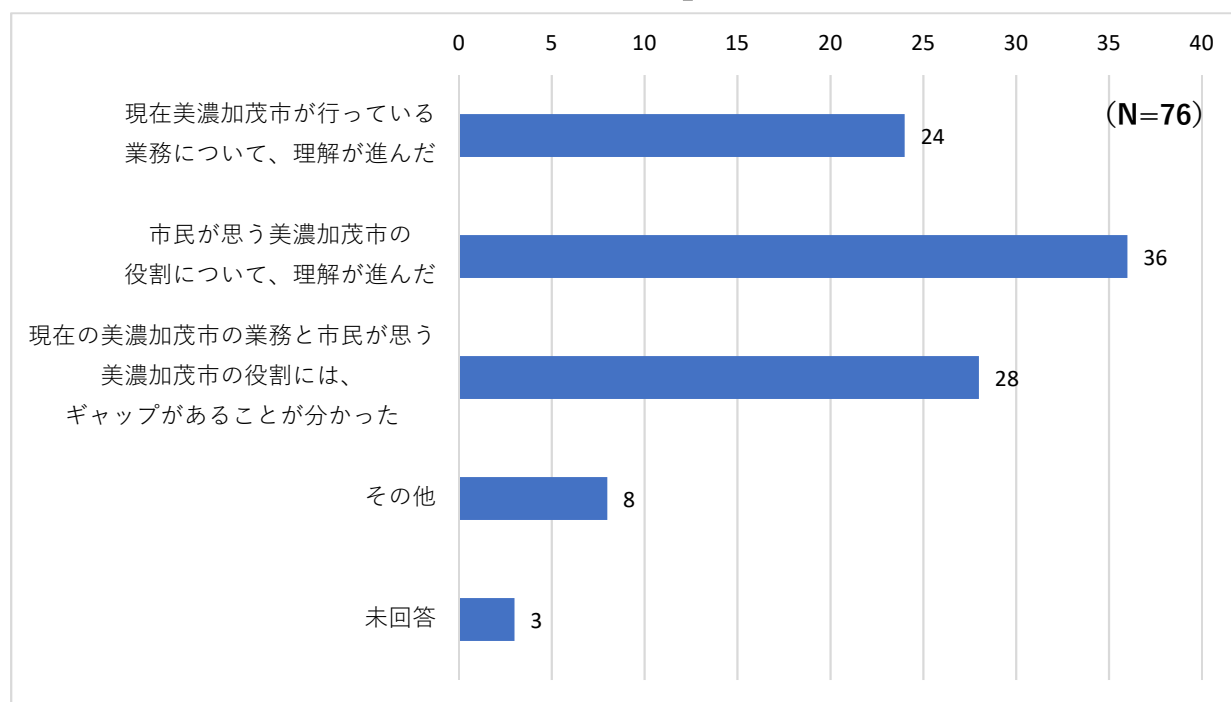
問1. ワークショップを通じて、「市の役割」についてどのように思いましたか？（複数回答）

「市民が思う美濃加茂市の役割について、理解が進んだ」が最も多く、次いで「現在美濃加茂市が行っている業務について、理解が進んだ」が続いた。一方で、アンケート回答者の30%が「現在の美濃加茂市の業務と市民が思う美濃加茂市の役割には、ギャップがあることが分かった」を選択した。

| | 回答者数【N=76】 |
|--|------------|
| 現在美濃加茂市が行っている業務について、理解が進んだ | 24 |
| 市民が思う美濃加茂市の役割について、理解が進んだ | 36 |
| 現在の美濃加茂市の業務と市民が思う美濃加茂市の役割には、ギャップがあることが分かった | 28 |
| その他 | 8 |
| 未回答 | 3 |
| 合計 | 99 |

図表 4 「市の役割」について

※複数回答有



◇自由意見

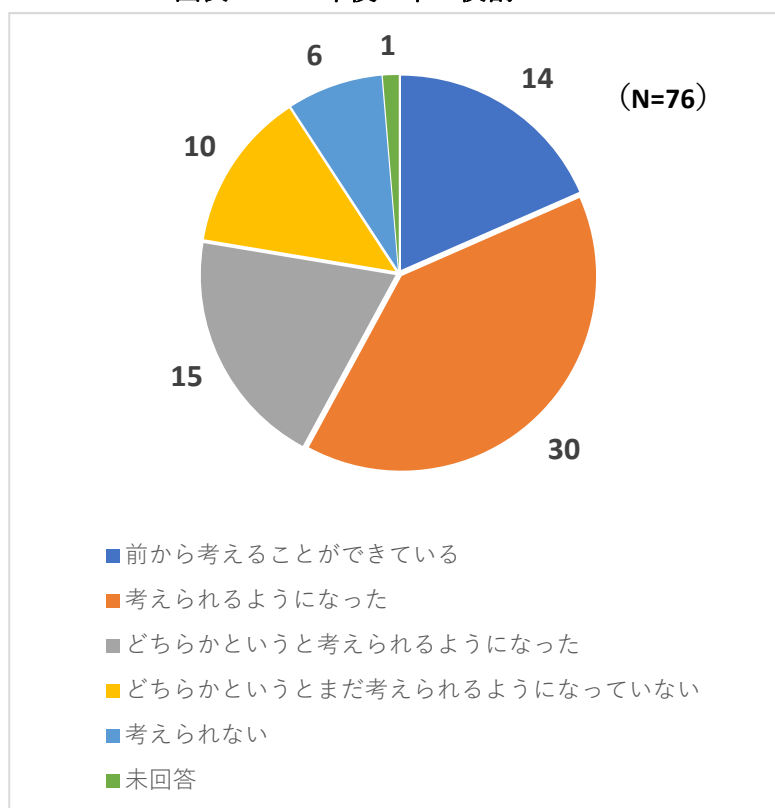
- ・ワークショップに参加してよかったと思う。
- ・市の事業の説明が長いので、レジュメをご覧くださいで十分だと思う。
- ・業務はわからない。
- ・募集記事にテーマの記載はあったが事前に想定していたものとは少し違っていた。可能であれば、もう少し具体的なテーマの回に再度参加したい。

問2. 10年後の市の役割を考えることができましたか。

「前から考えることができている」が最も多く、「前から考えることができている」「考えられるようになった」「どちらかというと考えられるようになった」と回答した回答者が約80%となった。一方で、「考えられない」を選択した回答者からは「2～3年スパンで考える事が大切」との意見があった。

| | 回答者数【N=76】 |
|--------------------------|------------|
| 前から考えることができている | 14 |
| 考えられるようになった | 30 |
| どちらかというと考えられるようになった | 15 |
| どちらかというとまだ考えられるようになっていない | 10 |
| 考えられない | 6 |
| 未回答 | 1 |
| 合計 | 76 |

図表 5 10年後の市の役割について



問3. 本日のワークショップに参加され、新たに市の役割として必要であると思ったことがあれば教えてください。(自由記入)

「まちづくりへの市民参加」や「地域のコミュニティづくり」といった、市民を巻き込んだまちづくりを推進してほしいという意見が多くあった。また、「人口減少／少子化対策」といった、現在進行している問題に対する意見が多く見当たった。

【まちづくりへの市民参加】

- ・ 市政の自分ごと化の推進
- ・ 市民を巻き込んだ街づくり
- ・ 恐れず市民の言葉を聞く機会を大切にして欲しい
- ・ 市民と市との思いが一致すること
- ・ 市民の意識づくりだと思う。2025年問題、少子高齢化、認知症、IT、AIなど価値観が大きく変化している。美濃加茂市を大切に思い市民として自信と誇りの持てる未来に向かって舵を切る大きなチャンスでもあると思う。
- ・ 期待感

【人口減少／少子化対策】

- ・ 少子化対策にもなるが、子育て支援の役割がもっと必要であると思った。
- ・ 将来国民、市民として生活し、国を支える子ども達を守ることは一番大事なことと思う。学校での低学年から高学年までの健康診断を充実させてほしい。
- ・ 行政、教育、文化等壁がある様感じた。「子どもファースト」を最大重要と共有してもらいたい。高齢者福祉は次点と覚悟してもらいたい。
- ・ 健康寿命を延ばす
- ・ 人口減少は防ぎようがないので、関係人口を増やすことを考えよう。
- ・ 雇用が生まれる町になるといいと思う。
- ・ 人口増加策

【福祉】

- ・ 福祉計画の充実が不可欠である。
- ・ 共存がテーマになる、、の話しがポイントだと感じた。新たな役割ではなくても住民福祉を最優先にしていけたら支え合える美濃加茂市になると感じた。

【地域のコミュニティづくり】

- ・ 自治会員を増やす
- ・ 多文化共生、近い将来国、市内等外国の人は多くなる。又自治会加入者は減少傾向にある。
- ・ 市民の力(自治会以外)の活用を進める必要、市民負担を増やさず住みよい市にするため。
- ・ 憩いの場を多くの場所に設ける

- ・各所の連絡所をもっと活用して、市民の憩いの場として発展させたら良い。

【魅力あるまちづくり／広報】

- ・自然環境を活かした魅力ある地域づくり、観光開発
- ・美濃加茂市の魅力とその発信

【DX】

- ・DX推進のための市民ITリテラシー向上施策
- ・市政見える化のためのデータ収集の仕組みづくり

【窓口対応】

- ・届け申告等の事務手続きは、LINE等により身近にできて役所に行かずにすむ訳である。これから役所は、市民によりそい行政を行わなければならない。ここへ行けば、ふり廻されずに解決出来る相談窓口業務が整う環境であってほしい。

【市政の透明性】

- ・今の問題が今後の課題になると言う事である事は理解したので、そこはKPI等で解決していくしかないのでは無いか。
- ・市議会の動きは不透明。
- ・行政にも柔軟さはとても重要だとは思いますが、土木、建築、建設となると少し話が変わってくる。人口や税収の減少、縮小といった負の予測にもしっかりと向き合い、ハッキリと公表して、中長期的な見通しのもと、だから今こうする事が必要だと丁寧に説明して欲しい。できれば、市職員が直接、コンサルタント業者の力を借りないで。
- ・市民のためになる市にしてほしい

【市の発展・活性化】

- ・これまでの市の発展をみると、太田地区が中心となって発展してきたように思う。美濃加茂市は8つの町からつくられているので8つの町をバランスよく発展させて頂きたい
- ・美濃加茂市の発展は太田中心でなく全体を考え駅北を中心に全体的な発展を望む所である
- ・企業誘致

【新庁舎整備】

- ・10年後では遅い！早目に（先に）たてられそうな土地についての条件を出してほしい
- ・市役所の役割ということであれば、土曜日、日曜日に開庁してほしい。平日は週休3日でも良いので。また、本庁舎ではなく、連絡所を開けて、大体の事は連絡所でできるようにしてほしい。各課が持ち回りで連絡所を巡回していけば、そもそも新市庁舎に行く必要がない。地区の市民と行事を行う所長とは別に窓口業務の責任者を置けば特に問題はないと思う。
- ・大きな箱物より、きめ細やかなソフト面での実績を積み上げ、品格のある美濃加茂市の地位に繋げ、近隣市町村と共に成長して欲しい。

- ・連絡所の役割は意外に大きいと思った。

【ワークショップ】

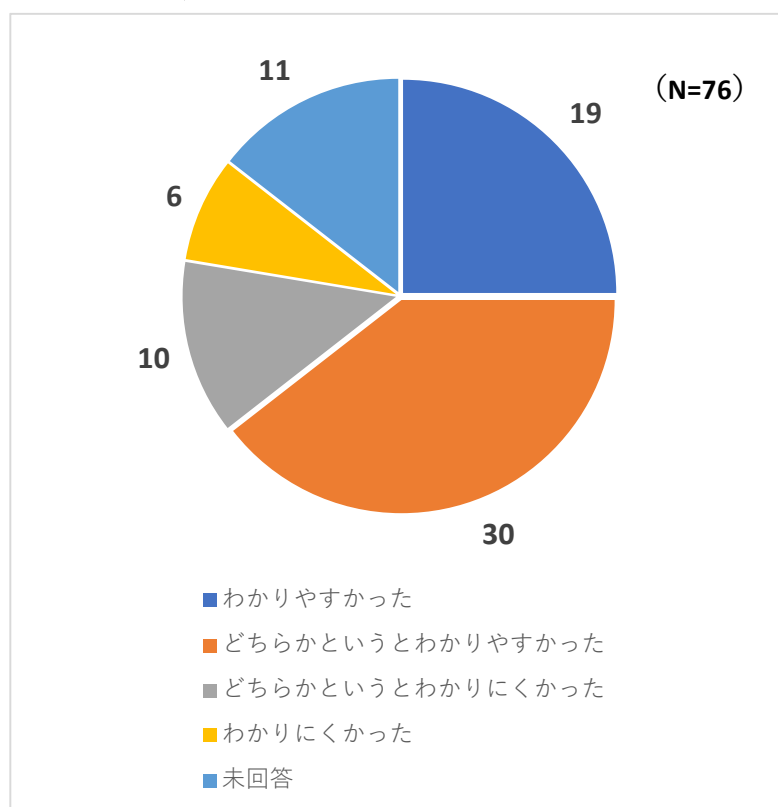
- ・さまざまな意見がでて、とてもよいワークショップでした。
- ・他人の意見も聞いてみるのも少しは理解が進んだ気がする。
- ・市職員とのコミュニケーションが計れなかったことが残念
- ・本日は今後の市のあり方中心だったので、市長、職員、議員がワークショップ参加された多くの人たちと意見の場に参加したい！
- ・前回の進め方は根幹より派生的、周辺的な機能を打ち出していた。極めて違和感を持った。今回は地についてのストーリーを描いてほしい。他市の新築状況（大垣、各務原、羽島、土岐）を十分研究されたい
- ・テーマの題名がよく理解できず
- ・いろんな年代・世代、小中高校やPTAなどからワークショップができると良かった
- ・グループで意見を出し合えて、活発な話し合いができた。大変有意義な時間が過ごせた。話し合いの時間がもう少し長くてもいいかと思った。今日の準備等、本当にお疲れ様でした！！

問4. 本日のワークショップの説明について

「わかりやすかった」「どちらかというとわかりやすかった」が合わせて約70%となった。しかし、自由意見として、「共通認識に至るには話し合う時間が少ない」といった意見があった。また、「新庁舎について今まで検討した内容が不明」「このワークショップがどのように新庁舎に反映されるのか？」という検討プロセスに関する意見があった。

| | 回答者数【N=76】 |
|------------------|------------|
| わかりやすかった | 19 |
| どちらかというとわかりやすかった | 30 |
| どちらかというとわかりにくかった | 10 |
| わかりにくかった | 6 |
| 未回答 | 11 |
| 合計 | 76 |

図表 6 ワークショップの説明について



◇自由意見

【時間配分】

- ・前に市の事業の説明や、先生の話しが長くて、グループでの話し合う時間が少ない。
- ・共通認識まで至らなかったことが残念でした。短時間では難しいのかもしれませんが、少しモヤモヤします。

【市職員とのコミュニケーション】

- ・同じ会議室に市職員がたくさんいるのに市役所側の考え方があまり見えてこない、また、参加者の考え方が十分に伝わっているとは思えない。

【ワークショップ内容】

- ・10年後と言われてショックでした
- ・ワークショップ全体のストーリー、そして今日果たすべきことがらが不明確だった。
- ・もっと具体的な話がしたかった。

【新庁舎検討プロセス】

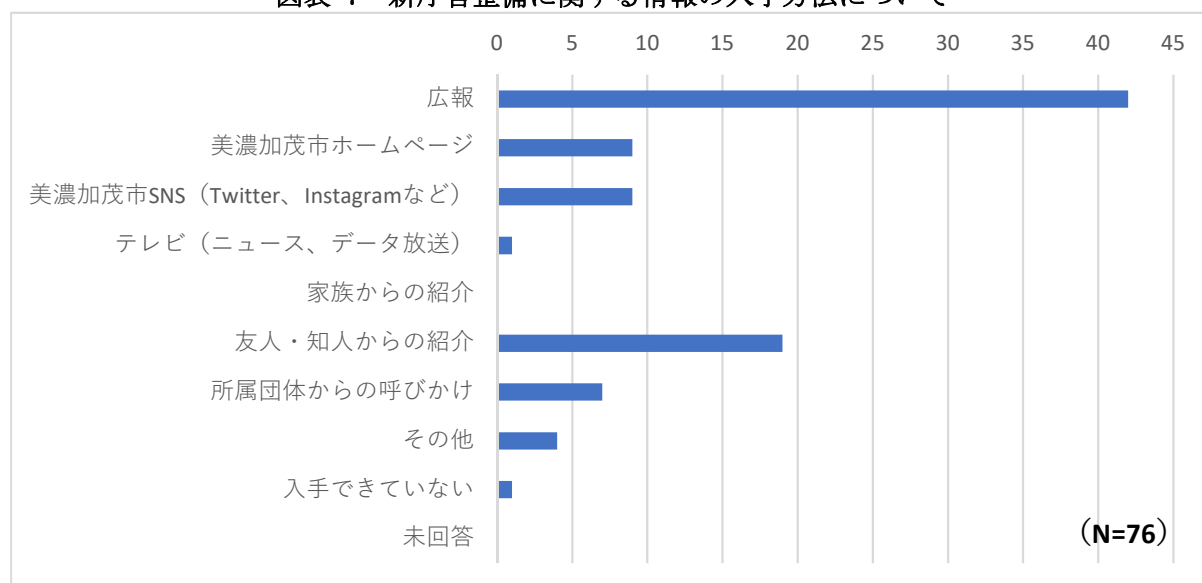
- ・今まで検討した内容が不明であった。
- ・このワークショップがどのように新庁舎に反映されるのか?
- ・この新庁舎の事を市民合意に持っていくのは難しく、今回も流れて永遠に話し合うのかな。

問5. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。

「広報」が最も多く、回答者の約60%を占めた。次いで、「友人・知人からの紹介」「美濃加茂市ホームページ」「美濃加茂市SNS」が続いた。その他の意見として、「美濃加茂メール」「市のグリーンキーパー」があった。

| | 回答者数【N=76】 |
|-------------------------------|------------|
| 広報 | 42 |
| 美濃加茂市ホームページ | 9 |
| 美濃加茂市SNS（Twitter、Instagramなど） | 9 |
| テレビ（ニュース、データ放送） | 1 |
| 家族からの紹介 | 0 |
| 友人・知人からの紹介 | 19 |
| 所属団体からの呼びかけ | 7 |
| その他 | 4 |
| 入手できていない | 1 |
| 未回答 | 0 |
| 合計 | 92 |

図表 7 新庁舎整備に関する情報の入手方法について



問6. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。

(自由記入)

新庁舎整備について、「立地」「ボリューム」「災害対策」の観点からの意見が多く寄せられた。特に、市役所の機能を一か所に集結させず、DXの推進や各自の既存施設を活用させるという意見が複数見られた。また、市役所は災害時の対策拠点となることから、水害等から安全な立地での建設を望む意見が多い。

新庁舎整備の検討プロセスについての意見も多く、集められた意見にどんなものがあったか、そしてそれがどのようなプロセスで新庁舎整備に反映され、どう決定されたのか発信してほしいという意見がみられた。

◇新庁舎整備について

【立地】

- ・人が来やすいよう日が多く差す明るい場所にして欲しい。
- ・個人的には車に乗れなくなった時、自分で行ける市役所であって欲しい。
- ・市内どこでも自由に
- ・市民が1年間でそんなに回数行く所ではないと思います。ただしアクセスは便利な方がよいことはいまでもありません。市外の人とはともかく、JR駅に近いことは必須ではないかと思います。バスコースの工夫で対応可能では。ただし、駐車場は一定数以上必要。岐阜県の公共施設の常識。
- ・ネットワークの活用により分散化させるのが良いと思う。
- ・分庁舎方式はやめてほしい。
- ・太田駅前の商店街の活性化の為とって活用しないで1ヶ所に集約するのは良いと思う
- ・アクセスしやすい、コンパクトな新庁舎

【ボリューム】

- ・市役所はコンパクトでよい。住んでいる地域の交流センターなどの機能を強化して、市民の要望や課題に真摯に向き合って対応してほしい。
- ・市役所は「市民が集う場」ではないと明確にした方がよいと思います。必ずそういう希望が出るとはありますが、文化会館、生涯学習センター、公民館、文化の森など他の施設の有効活性を優先すべきだと思います。市役所にその機能を持たせるとどんどん大きくなります。コスト増になります。
- ・市民が手続きが必要な部署はひとまとめにして、他の業務を行う部署は分散させるなどして、小さな市役所としてはどうか。
- ・極端な事を書くとも庁舎は無くても良いと思っている。市議会議場でさえ多目的ホールのような所で可動式の机と椅子で良いと思う。健康課やこども未来課が医療センターに入居した現在、全ての課が一同に揃う総合庁舎的、市のランドマーク的な高層階の建屋は不要だと思う。デジタル化とともに、連絡所の機能を充実していけば、新庁舎が何処にあっても、どんな外観でもたいした問題では無いのではないか？

【災害対策】

- ・安全安心な庁舎
- ・一番の課題である「場所」については、防災上の観点から、駅前がふさわしいとは思いません。水害のおそれがあることは論外ですが、周辺に広場はとれる方が、災害時には有効です。市の中心部からそれほど離れない、一段上の土地で適地があればと思います。
- ・防災も考え駅北以上の標高が必須だと思います。職員だけの建物なら何処でも頑丈な部屋さえあれば事務は出来ると思います。
- ・まちづくりの貢献する環境を考慮した利便性が高く機能的な整備を推進する防災拠点として、防災センター（消防署等と同じ施設内にする）又図書館の公園憩いの場と一部の市民の中には新庁舎を駅前に整備し、商業ビルを建設して駅南地区の発展を考えてみえるようですが新庁舎は駅南地区の発展とは切り離して災害に強い整備地を選んで欲しい。
- ・やはり新庁舎事業は災害等避難場確保等の役目もあると思います（緊急時）消防署との1体等と課題が多いと思うので市民理解を充分にする必要があると思います
- ・地球温暖化が本当に心配な毎日です。ぜひとも安全な地域、水につからない所に市庁舎は建ててほしい。温暖化対策のひとつとして、新庁舎には太陽光発電装置をぜひつけて頂きたい。電力も地産地消の第一歩として考えてほしい。
- ・今後災害の発生頻度が高くなってきます。防災について踏み込んだ検討をお願いします。
- ・新市役所は水害などにならない所に作ってほしい
- ・新庁舎は第一に安心、安全を考えた場所に

【DX】

- ・窓口業務は、支社、コンビニ、ネットを活用し、市役所へ直接出向かなくてもよいように。10年たったらガラリとかわるのでは。
- ・市からの情報発信は、スマホなど格段に進んできたと思います。引き続きお願いします。
- ・人口が減っていく中、大きな新庁舎は不要です。コンパクトにする為にデジタル化を進めてほしい。

【検討プロセス】

- ・今回のようにいろいろな地域、年代の方の意見を取り入れ整備を進めてほしい。特に、候補地選定から候補地の決定に関しては、議論に時間をかけて進めてほしい。
- ・このWSで集まった意見にどんなものがあつたか、そしてそれがどういうプロセスで新庁舎整備に反映させるのかが分かるとありがたい。
- ・自分や他の参加者の方の意見は聴けたが、現行政職員さんの考えも聴いたり意見交換したりする機会がほしい。これまで、不透明とはいえ、議論はされてきているはずで、その内容はぜひ議論する手前の土台としてオープンにしてほしい。
- ・建てる場所が決まったら教えてほしい。同じ場所に建替は可能？誰に決定権はあるの？最終判断は？意見吸上げの方法は？”なるほど！そうやって決まったんだね”と分かるように伝えてほしいし表示してほしい。

- ・細やかな情報発信、ポータルサイトへの誘導をお願いします。今日上がった意見を深掘りするワークショップがあるともっと親近感がわくと思います。
- ・前市長体制は市民説明が充分されていない状態で進んでいた。
- ・WS 参加者だけでなく、幅広い年代（特に若い人）の声を拾い上げて（聞きに行つて）参考にして頂きたいと思う。
- ・意見をきくのは結構だが、100 人いれば 100 とおりの考えがある。「総合計画」的なものできちんと議論してほしい。
- ・県内の多くの市町村役場に行っているが、新しいところは、それぞれ工夫がされている。コストとの見合いなので、職員の意見を参考に、専門的によく検討されればよいと思う。そこに、市長の「思い・こだわり」があってもよいと思う。

【ワークショップ】

- ・ぜひワークショップを小学生、中学生、高校生対象でやってほしい
- ・小学生や中学生向けのワークショップもやって頂ければ、おもしろいと思う
- ・市民との対話を大事にしてくださる美濃加茂市の姿勢に大変嬉しい想いでいっぱい。これをきっかけに、対話文化が美濃加茂市の特色の一つになるといいなと思った。小中学高校でも子どもと大人の対話を通して、『自分たちの学校は自分たちでつくっていく！』と、なれば様々な諸問題は問題で無くなることでしょう。
- ・今まで新庁舎については、5～6 年間かけての資料があります。それを発表して今回のワークショップにした方が良かったと思います。（アンケート結果の件も）
- ・今回のテーマと庁舎建設との関係がよくわからない。
- ・当日は雨が降って、多少は涼しくなっていたが、それでも室内は暑かった。公舎の中なので、飲料の持込は NG かと思って持ち込まなかった。冒頭で水分補給の案内か、願わくは参加の案内にその旨を 1 文記載があると良かったと思う。

【その他（新庁舎）】

- ・利用しやすい庁舎
- ・管理修繕費の掛かりそうな箱物はやめ、自然と融合したオシャレな空間を作って欲しい。人が集まりやすい発信力のあるスポットにして欲しい。リバーポートパークは大成功だと思う。市民が足を運びたい、集まりたい、このような素敵な庁舎で働きたいと思えるような、美濃加茂市のシンボルとなるものを作ってほしい。
- ・市職員が、効率的に仕事ができることが第一。ICT に対応し、フレキシブルに活用できる会議スペース。職員と市長、職員同士が意見交換できる仕組みとスペース。今回、健康課などが市役所から遠く離れてしまったのは、まずかったのではないか。
- ・失敗のない建築となってほしい
- ・市民が利用することは年に数回だと思えます。職員ファーストの使いやすい事務がしやすい建物でよいのではないか
- ・託児（子どもが待機できるスペース）があれば子連れの方も来れると思えます。ぜひ多世代の方から意見を聞かれると良いと思う。

- ・市庁舎へ来るのが楽しみになる行政+憩いの場にしてほしい

◇その他

- ・厳しい財政対策として企業誘致に力を入れて欲しい（大型店舗（イオンタウン）が誘致出来ればにぎわう街、美濃加茂市となる。
- ・広大な自然環境資源、文化歴史を活かし次の世代へ負担のない市政、人材育成文教都市静かな町を、車時代、交通、駐車場、土地の活用が応用範囲広がる等ソフト面の利便性を考慮してほしい。
- ・市民が安心して暮らせることが第一。防災、福祉はかなり進んできたように思う。
- ・いずれにしろ、市町村はすべての事に責任がある。重点がひとつということはない。それぞれの各論的な事業に優先順位をつけていくことが課題だと思う。
- ・住みやすい町だと思いますので、内外に魅力をもっとアピールしていただきたい。
- ・いつ行っても対応できるよう市の職員の皆さんの能力の向上を願っている。
- ・今日のような行事は民間に頼らず、職員で運営できるように職員の皆さんのスキルアップを期待する。
- ・美濃加茂市に生まれて良かった、美濃加茂市に住んで良かった、そう思える他市町村に誇れる行政を進めて欲しい